

ピープルズ・ホープ・ジャパン 2012 年度 事業報告

1. 概要

当期活動は東南アジア 4ヶ国での支援活動とともに昨年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の災害支援にも前期に引き続き活動を行いました。タイ・ベトナム・インドネシア・カンボジアの支援活動は順調に推移し、これら海外支援に対する募金活動においては補助金を含めた収入計画 8,990 万円に対し実績 8,349 万円と計画未達となりましたが、支出については計画 8,990 万円に対し実績 8,227 万円となり、この収支は+122 万円とブレイクイーブン目標を達成しました。

一方災害支援活動におきましては前期同様、多くの法人・個人の方々のご支援により災害募金収入 2909 万円、商品寄付 13,977 万円となり、全日本病院協会と連携し主に気仙沼、石巻の被災病院の復興のための医療機器等の寄贈による支出は 17,737 万円となり、災害募金残金 1,138 万円は次期に繰越しました。

2. 2012 年度 会計概要

(単位: 万円)

計画		実績		
収入	計	海外支援	災害支援	計
法人募金	5,170	4,711		4,711
個人募金	820	810		810
パートナー募金	230	220		220
一時寄付	600	678		678
災害募金	500		2,909	2,909
公的補助金	2,170	1,925		1,925
商品	12,600		13,977	13,977
計	22,090	8,349	16,886	25,235
支出	計	海外支援	災害支援	計
インドネシア	1,838	1,548		1,548
カンボジア	1,901	1,953		1,953
タイ・ベトナム	2,761	2,478		2,478
災害支援	2,490		3,760	3,760
募金広報費	1,600	1,751		1,751
管理費	600	495		495
商品	12,600		13,977	13,977
計	23,790	8,227	17,737	25,964
当期収支	-1,700	+122	-851	-729
次期繰越	5,165	4,998	1,138	6,136

3. 支援活動報告 (事業報告)

3-1 東日本大震災支援活動 (総事業費 17737 万円)

PHJは引き続き全日本病院協会と連携して緊急支援から復興支援に活動をシフトしてきました。気仙沼市医師会のご協力により 27 の医療機関にニーズ調査を行い、第一次支援は 2011 年 12 月に医療機器 1600 万円と什器類を、第二次支援は 2012 年 4 月に医療機器 1340 万円と什器類をそれぞれ納入しました。なお各医療機器メーカーより特別価格による提供や超音波診断装置等の機器の寄贈等のご協力をいただきました。また津波で全壊した気仙沼の二つのクリニックからは新しい場所で 5 月に新オープンした嬉しい報告も届きました。気仙沼以外には石巻港湾病院に什器類を寄贈しました。

3-2 タイ支援（総事業費 2478 万円）

① HIV/エイズ予防教育支援(自己事業)

予定していた、外務省の補助金を取得しての過去 10 年以上の活動の評価プロジェクトは、その準備の都合上 2013 年度に延期し、2011 年度同様の活動方法で、5 大学を中心に事業を行いました。

② 子宮頸がん・乳がん検診推進支援(補助金事業)

チェンマイ県内 6 郡で、乳がんも追加した 3 年間のプログラムを 2010 年 11 月より開始しています。第一年度の活動地域であるサラピー郡およびサンカンペン郡では、子宮頸がん検診受診率 50.7%、乳がん自己触診率 76.3%を達成し、検診の結果異常が見つかった女性全員が、その後精密検査と治療を受けることができました。第二年目となる 2011 年 11 月からは、サンサイ郡およびドイサケット郡で事業を開始しています。

③ HOPE パートナー教育支援（自主事業）

1998 年以来継続している「里親制度」プログラムで、個人および、企業の支援を得ています。2012 年度は 61 名のドナーにより、59 名の長期療養を必要とする子供達および家族への治療および健康教育・自立支援活動を行いました。また、障がい児の家族によるケア教育のための施設「ラーニングセンター」の運営を、現地の RICD（ラジャナガリンドラ子供発達支援センター）に移管しました。

④ 小児先天性心臓病手術支援(自主事業)

2011 年度に引き続き多くの企業からの支援のもと、17 名の子供達の心臓病手術支援を行いました。今年度からは従来のパートナー病院であるチェンマイ大学病院に加え、新たにランパン病院での手術が可能になりました。

⑤ ベトナムハノイ乳がん検診推進支援(自主事業)

ハノイの現地 NPO のネットワークを利用して、タイ事務所の経験を生かした、乳がん検診推進事業を 2011 年 1 月よりテストプログラムの位置づけで開始しましたが、現地の要望により、2012 年 1 月からは、事業地を変え第二年度の活動を開始しています。

3-3 インドネシア支援（総事業費 1548 万円）

① バンタン州地域保健医療システム強化事業（自主事業）

西ジャワのバンタン州セラン県で、MDGs 目標でもある安全な出産と子供の健康な発育を目指し、村レベルの診療所を中心とした地域医療連携システム強化事業を引き続き実施しました。優良な医療サービスを提供できる診療所 (Poskesdes) 等の建設支援は当年度 1 棟、累計 8 棟 (含助産室) となりました。「栄養改善活動」では、新鮮で安価な食料確保のための栄養菜園開発を行い、期待以上の収穫を得、また栄養教育センター機能もフル活用しています。

事業対象地域は保健行政にモデル自治区として認められ、一層の励みとなっています。

② 水事業（自主事業）

母子健康プログラムの事業実施地には上水道設備はなく、診療所での安全な水確保のために、今までの掘削経験を活かした手掘りによる深井戸を 1 本掘削しました。(累計 8 本)

③ 感染症予防教育支援(自主事業)

バリ州では、特に狂犬病の発生率が高く州保健局から感染予防啓蒙教育と狂犬病ワクチン不足への支援要請がありました。これに応え 2008 年度バリ州での鳥インフルエンザ感染予防啓蒙教育を実施し成果を挙げた経験を水平展開して予防体制を整備すると共にワクチンも支援し、成果を挙げました。

④ 画像診断技術教育支援(自主事業)

画像診断技術教育支援の対象をギアーニア病院の医師・技師のみでなく地域診療所にも拡大し、派遣技師によるブラッシュアップ事業を継続実施し初期の成果を上げました。

⑤ 口腔衛生予防教育支援（自主事業）

今年度も東バリ地区の歯科医師等の専門家を対象にした小児歯科技術教育セミナーを開催し、好評でした。

3-4 カンボジア支援 (総事業費 1953 万円)

① 母子保健 助産師トレーニング(自主事業)

2007 年度よりプレイベン州のプレイベン保健行政区で、地域の母子保健の鍵を握る保健センター助産師が、適切な助産サービスに必要な技能を修得することを目標に地元の州病院産科で実践的トレーニングを実施してきました。今年度は、プレイスダット保健行政区で保健センター助産師 8 名を対象とするトレーニングを実施しました。

② 母子保健改善プロジェクト(補助金事業)

コンポントム州での母子保健改善事業は、FY12 より 3 年事業「健康な村作り事業」として始まりました。当事業は、村人の行動変容に焦点を当てた事業となっています。1 年目は、事業基盤作りということで、母子保健に特化したボランティアや衛生モデル世帯の育成、村から保健センター等への医療アクセスを改善するための村人運営による緊急搬送システムの立ち上げ等を行いました。

以上